

公共交通についての 市民へのアンケート

● 市民へのアンケート

1. 調査の概要

【対象】

- ・15歳以上の幸手市民 2,000名を無作為抽出

【調査期間】

- ・令和5年3月

【調査方法】

- ・郵送配布
- ・郵送回収または回答用QRコードからWEBで回答

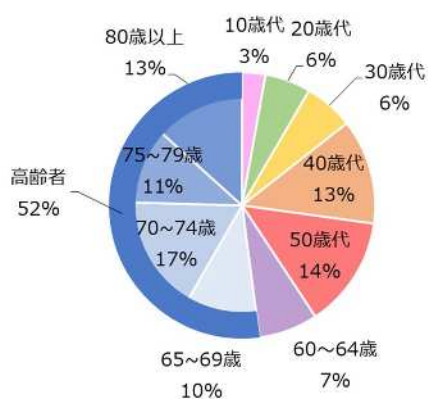
【回答者数】

- ・920名（郵送741,web179）



（このアンケートの回答者について）

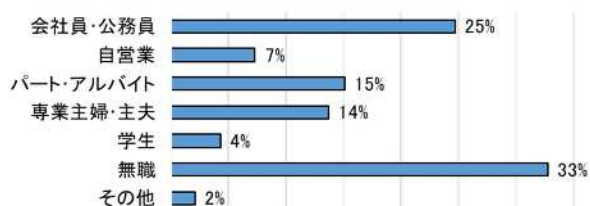
回答者の年齢



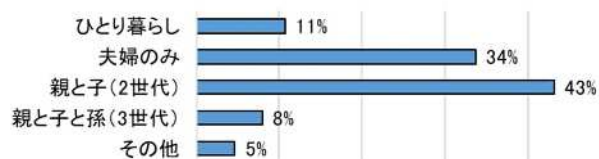
居住地



職業



世帯構成

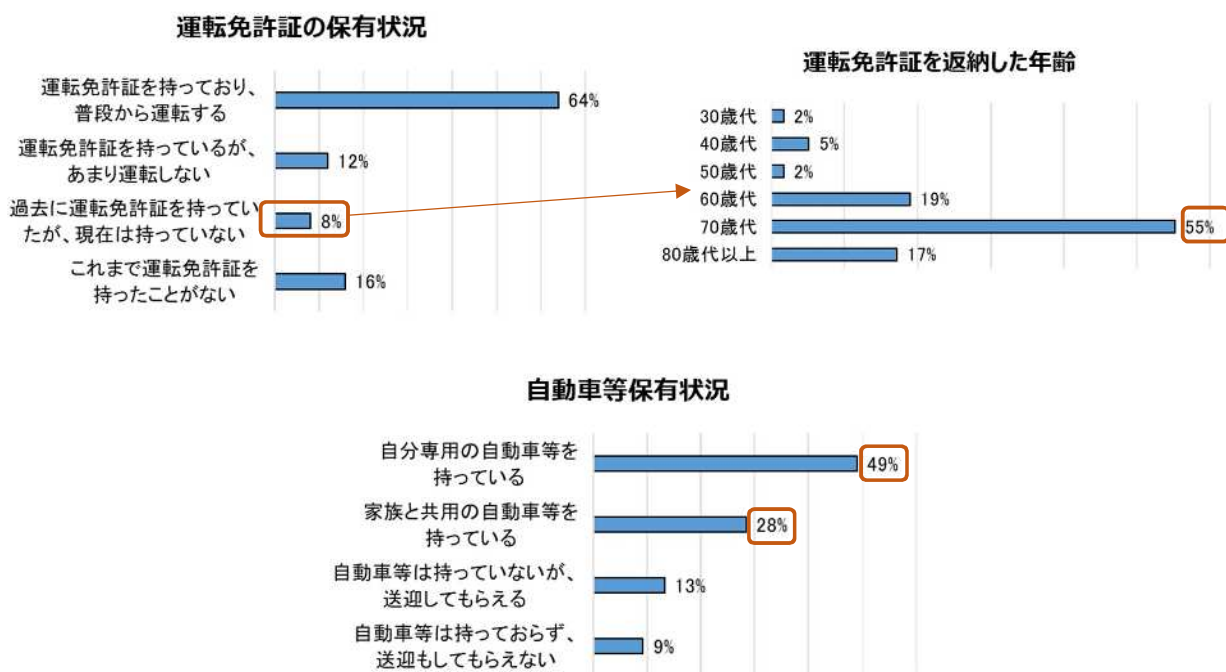


2. 主な調査結果

(1) 運転免許証の保有状況について

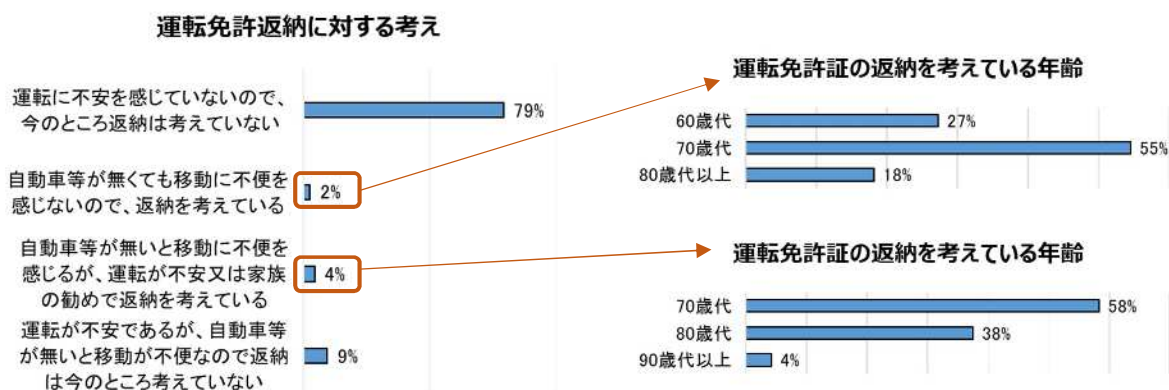
・運転免許・自動車の保有状況

- 回答者の6割以上が運転免許を保有しており、普段から運転をしています。
- また、計8割近くの方が自分または家族共有の自動車を持っています。
- 「過去に運転免許証を持っていたが、現在は持っていない」という人に運転免許証を返納した年齢を尋ねたところ、70歳代が最も多くなっています。



・運転免許証の返納に対する考え

- （このアンケートの回答者には高齢者が多く含まれていますが、）運転に不安を感じず、今のところ運転免許の返納は考えていないという人が突出して多くなっています。
- 少数ながら、「自動車等が無くても移動に不便を感じないので、返納を考えている」という人、「自動車等が無いと移動に不便を感じるが、運転が不安又は家族の勧めで返納を考えている」と回答した人が考える運転免許証の返納時期は、70歳代が最も多くなっています。



(2) 最も多い外出について

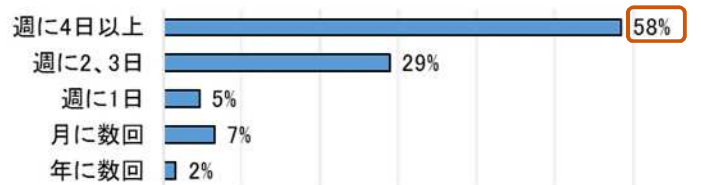
- 最も多い外出は、「通勤・通学」、「買い物」が特に多くなっており、その外出頻度は、「週4日以上」が最も多く、次いで「週に2、3日」が多くなっています。
- 目的地は、幸手市内が市外を若干上回っていますが同程度となっています。具体的な回答があった中では、スーパーマーケット、ホームセンター等の店舗が大半であり、その他に病院・クリニック等もあります。
- 移動手段については、自動車（自分で運転、送迎）が突出して多くなっており、クルマ中心の外出スタイルになっている状況がうかがえます。その他では、鉄道、自転車、徒歩が比較的多く、バス等で外出する人の割合は少ないのが現状です。

・外出目的



・外出頻度

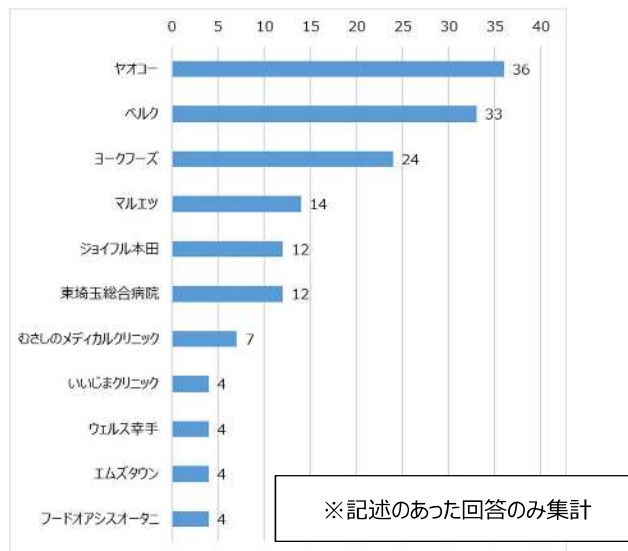
1番多い外出：頻度



・目的地

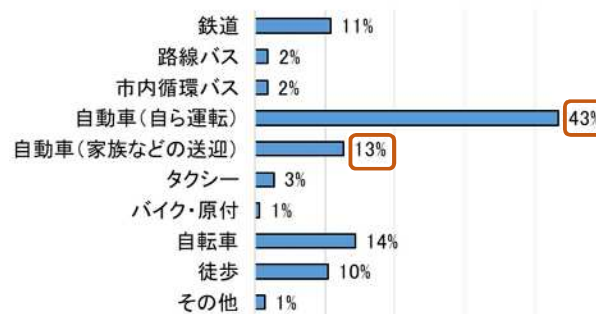


目的地別人数 [人]



・移動手段

1番多い外出：移動手段



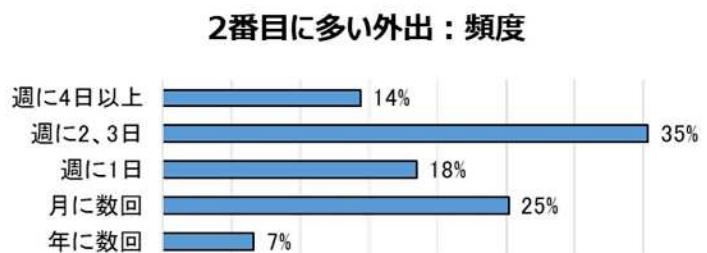
(3) 2番目に多い外出について

- 2番目に多い外出目的は、「最も多い外出」と同様に「買い物」と回答した人が多くなっていますが、次いで多いのは「趣味・娯楽・食事・習い事」、「通院」の順となっています。
- 外出頻度は、「週に2、3日」、「月に数回」が多くなっています。
- 目的地は、市内が6割程度、市外が4割程度となっています（最も多い外出と比較し、市外がやや増加）。
具体的な回答があった中では、スーパーマーケット等の店舗が多くを占め、病院・クリニック等も多くなっています。
- 移動手段については、「最も多い外出」と同様に、自動車（自分で運転、送迎）が突出して多く、バス等で外出する人の割合は少ないのが現状です。

・外出目的



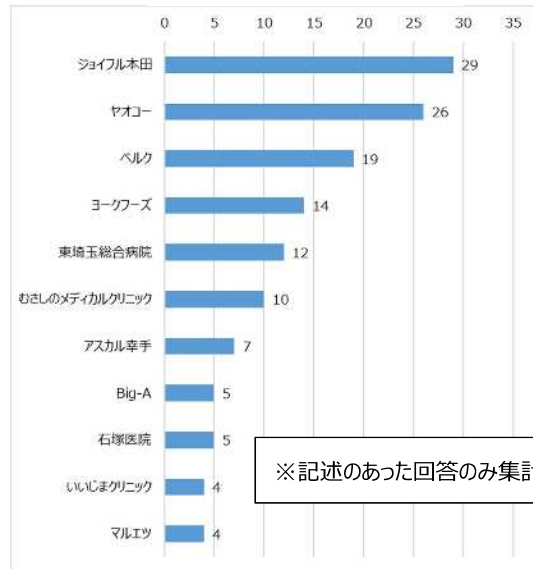
・外出頻度



・目的地

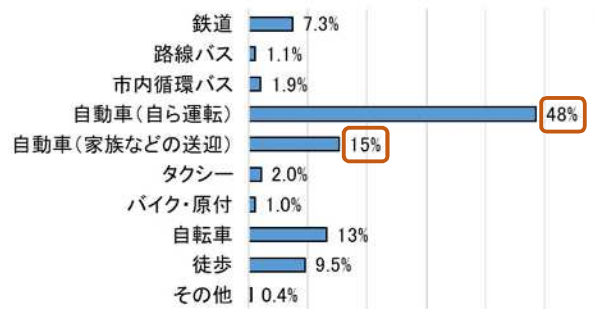


目的地別人数 [人]



・移動手段

2番目に多い外出：移動手段

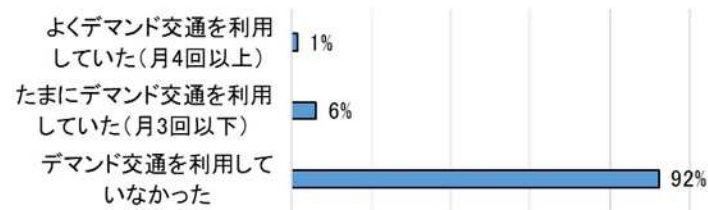


(4) 市内循環バスについて

・以前のデマンド交通の利用状況

●回答者のうち、以前のデマンド交通を利用していた人は一部に限られています。

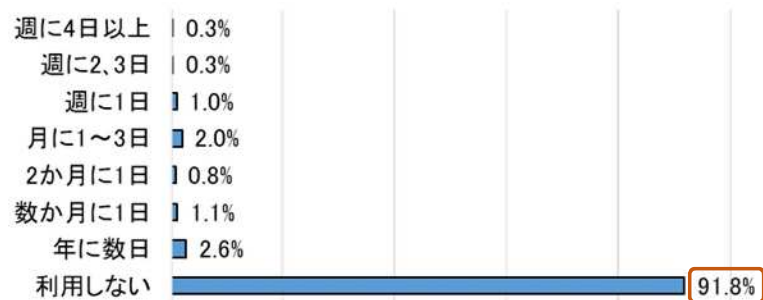
以前のデマンド交通の利用状況



・市内循環バスの利用頻度

●回答者のうち、現在、市内循環バスを利用する人も一部に限られている状況です。

市内循環バス：利用頻度

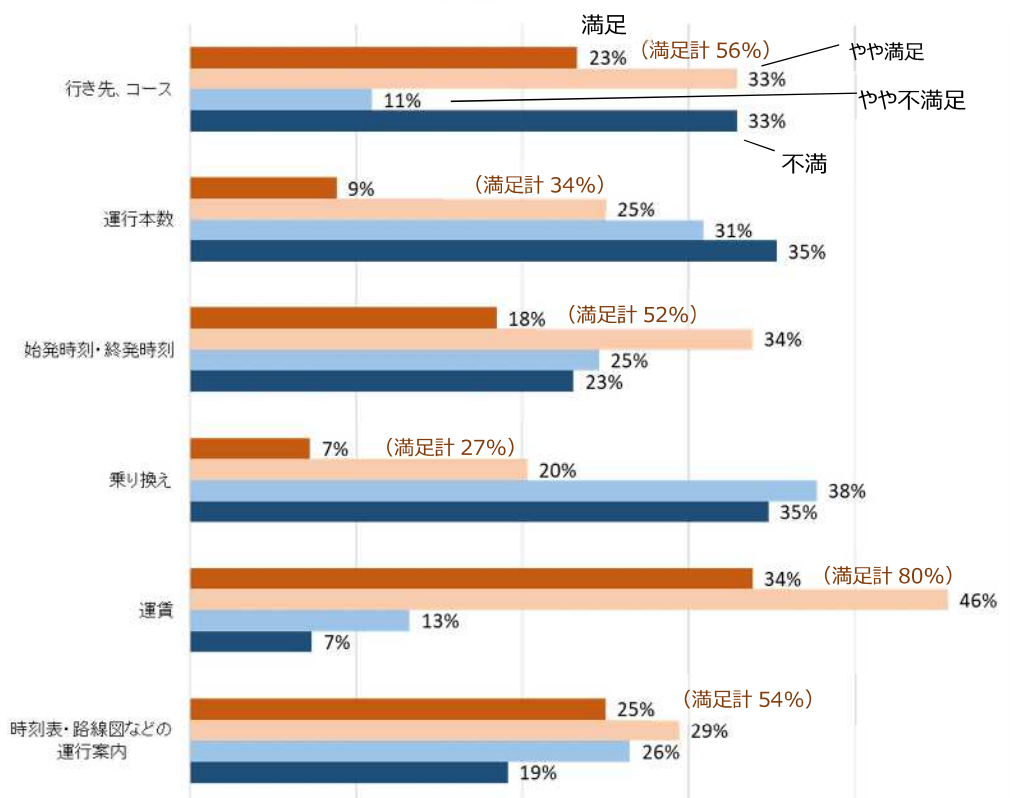


・満足度について

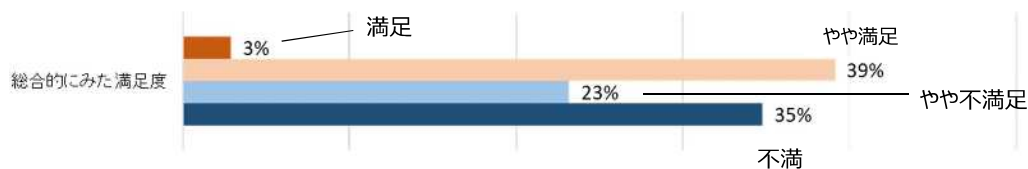
- 「満足」「やや満足」との回答は、「運賃」で特に多く、その他では「行先、コース」、「運行案内」についても満足、やや満足との回答が多くなっています。
- 一方、「乗り換え」、「運行本数」では、「不満」「やや不満」との回答が多くなっています。
- 総合的にみた満足度については、「不満」「やや不満」との回答が、「満足」「やや満足」を上まわっています。

(*この設問については、循環バスを利用しない人が大半のため、回答者は少数でした。)

市内循環バス：満足度



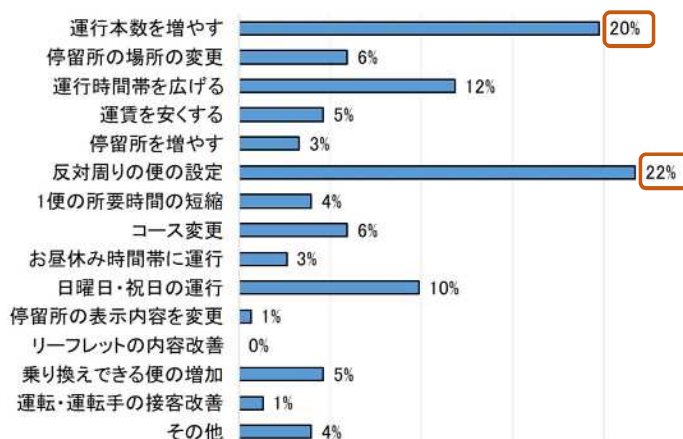
市内循環バス：総合的にみた満足度



・利便性向上への取組みについて

- 市内循環バスを利用している人に対し、市内循環バスをより良いものとするために必要と考える取組みについてたずねたところ、「反対回りの便の設定」、「運行本数を増やす」の回答が特に多くなっています。

市内循環バス：利便性向上のために必要な取組み



・市内循環バスを利用しない理由

- 市内循環バスを利用しない人にその理由をたずねたところ、「車など他の交通手段がある」との回答が 5 割程度で突出して多くなっています。車が使える間はバス等の利用を考えない状況がうかがえます。

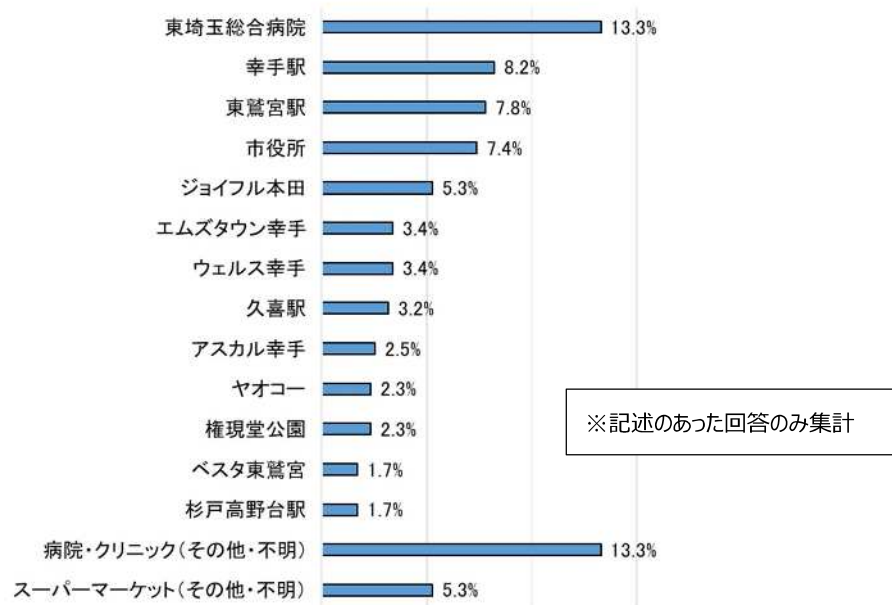
市内循環バス：利用しない理由



・市内循環バスを利用して行きたい、または行っている目的地

- 市内循環バスを利用して行きたいまたは行っている目的地については、病院・クリニック、駅、スーパーマーケット、ホームセンター等の店舗が挙げられています。

市内循環バスを利用して行きたい場所

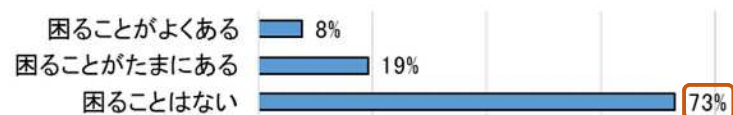


(5) 移動手段の確保について

・移動手段の確保で困る頻度

- 外出したい時に移動手段の確保で困ることがあるかをたずねたところ、「困ることはない」との回答が7割程度で大半を占めています。

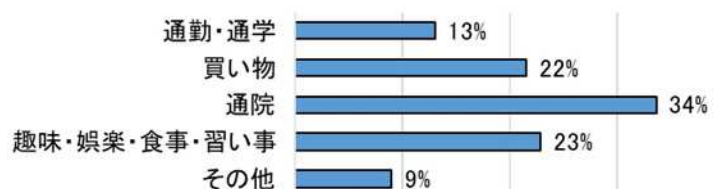
移動手段の確保に困る頻度



・移動手段の確保で困る場面

- どのような目的で外出したい時に困るのかをたずねたところ、「通院」との回答が最も多く、次いで趣味・娯楽・食事・習い事、買い物が多くなっています。

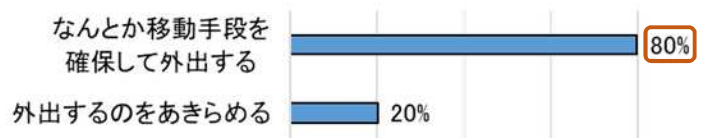
移動手段の確保に困る場面



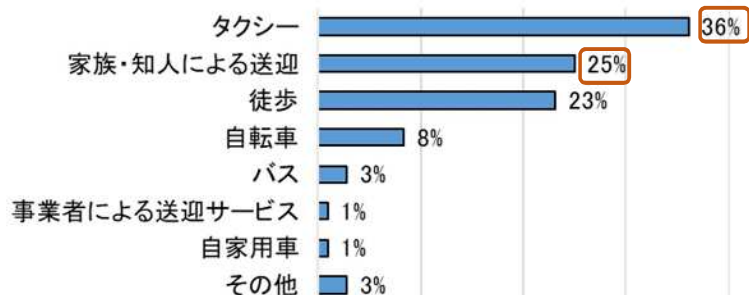
・移動手段の確保で困った際の対応

- 移動手段の確保で困った際、「なんとか移動手段を確保して外出する」との回答が大半を占めています。
- 「なんとか移動手段を確保して外出する」と回答した人の移動手段は、「タクシー」が最も多く、次いで「家族・知人による送迎」「徒歩」が多くなっています。外出手段に困った際も、現状のタクシーや家族・知人の送迎で対応できている状況です。

移動手段の確保に困った際の対応

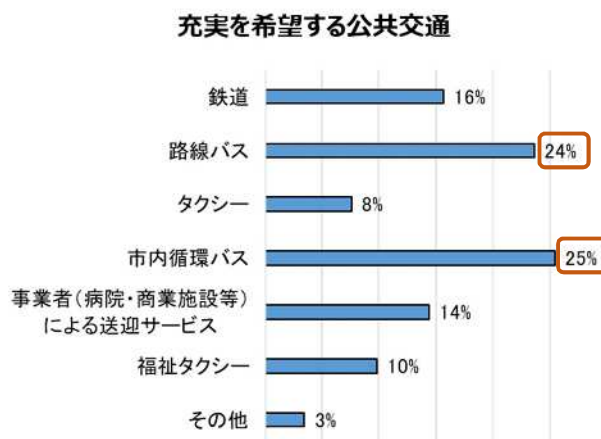


移動手段の確保に困った際の移動手段



・充実を希望する公共交通

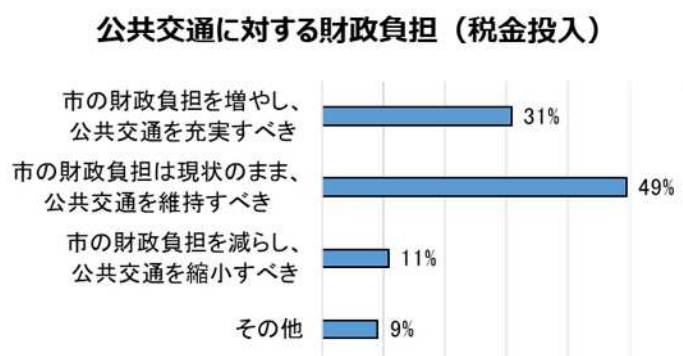
- 回答の中では、「市内循環バス」、「路線バス」の充実を希望する人の割合が比較的高くなっています。



(6) 公共交通の今後のあり方について

・市の公共交通に対する財政負担について

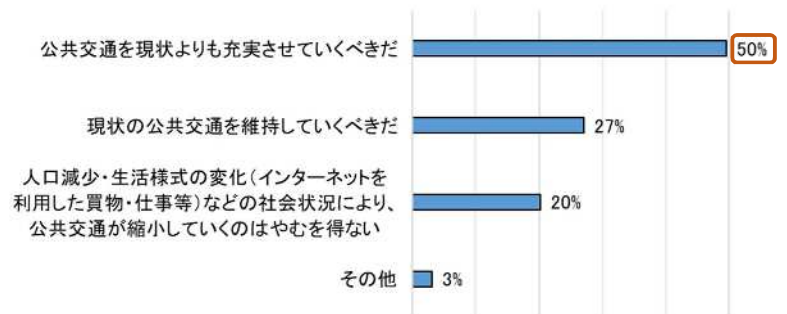
- 「市の財政負担は現状のまま、公共交通を維持すべき」との回答が5割程度で最も多く、次いで「市の財政負担を増やし、公共交通を充実すべき」が多くなっています。
- 一方、「公共交通に対する市の財政負担を減らすべき」との回答も1割程度あります。



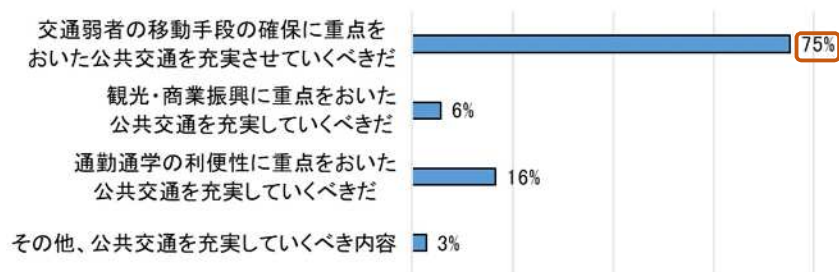
・今後の公共交通について

- 「公共交通を現状よりも充実させるべき」が5割程度と最も高く、次いで「現状の公共交通を維持していくべき」が3割程度となっています。一方、「公共交通の縮小はやむを得ない」との回答も2割程度あります。
- 「公共交通を充実させていくべき」と回答した人に、充実すべき内容をたずねたところ、「交通弱者の移動手段の確保に重点を置くべき」との回答した人が7割以上で突出して多くなっています。

今後の公共交通について



充実すべき内容



(その他、記述のあった主な内容)

- ・ 将来は利用を考える、今はクルマがあるので利用しない、今はバスに乗ることがない (多数)
- ・ バスの便数について
- ・ バスの方面について
- ・ バスは利用客が少ない、もったいない
- ・ タクシーチケットがほしい
- ・ 循環バスの反対回りがほしい 等